

**変えよう!**  
change  
兵庫県

憲法が輝く兵庫県政をつくる会  
第41号 2023年12月25日  
HP・X (旧ツイッター)  
「兵庫・憲法県政の会」検索! 【部内資料】

# 第2回地域要求懇談会開く

## 地域の要求を土台に 地域に根ざした県政を

### 「あるべき地方自治体の役割と兵庫県政」

憲法が輝く兵庫県政をつくる会  
第2回地域要求懇談会 2023年12月5日



代表幹事 石川康宏

「会」は発足以後『ウィーラブ兵庫』の発刊など、主に学習の取り組みを通じて「地域の会」を支援してきました。過去の活動も振り返り、地域ごとの要求を土台にすえて、地域に深く根を張った県知事選挙の構えをつくっていきましょう。

幹事会は現在、候補者選考を進めながら、組織づくり、政策づくり、共闘づくりの努力を行なっています。今日の要求懇談会の開催とともに、新年から「兵庫民報」での連載もスタートさせて、学習の取り組みも強化していきます。

すでに神戸大学名誉教授の岡田先生、神戸女学院大学准教授の景山先生をお招きしての座談会も実施しました。

①斎藤県政は生活者との接点がとぼしい官僚政治、②選挙活動ではいつでも女性を意思決定の真ん中に、③「戦争の準備でなく平和の準備」を県政づくりでも大きな争点に等、刺激的な内容になっています。ぜひお読みください。



「地域の会」の活動再開・強化のための具体的な相談を、「会」や地域の加入団体のみなさんで進めていきましょう。

懇談会は、県内を3つのブロックに分けて開催した7月の地域要求懇談会に続くもので、石川康宏代表幹事の問題提起の後、意見交換を行いました。発言では、政府(官邸)いなり姿勢を強めている斎藤県政のもとで、医療、教育など、あらゆる分野での地域の疲弊が浮き彫りになりました。また、国の進める戦争国家づくりの中で県下の自衛隊基地の強硬化についての報告もありました。発言の概要は以下のとおりです。

「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」は、25年知事選挙に向けた取り組みとして、12月5日、ホスト会場とサテライト会場11カ所を結び全県オンライン要求懇談会を開催しました。

**アジアの平和と連携を進める県政を**  
戦争する国づくりが進む中で、兵庫県でもという現れになっていくかを明らかにすることが大事です。兵庫県には、伊丹、川西、青野ヶ原、姫路、淡路、神戸など自衛隊基地がありますが、川西では弾薬庫が住宅地に隣接しており、青野ヶ原には頻りに自衛隊ヘリコプターが訓練に飛来するなどの危険な実態が知られています。但馬で米軍オスプレイの飛行が目撃され、ドクターヘリ空域と



高校3年生世代まで無料の制度がある自治体が37市町と県内の9割を超え、通院・入院とも無料の自治体が25市町と6割を超えています。(兵庫県保険医新聞9月5日号より)

重なる危険に兵庫県は対応していません。平和首長会議に県内の全41市町長が参加しており、兵庫県も加盟する東南アジア地域自治体連合を活かし、地方自治体の平和外交で東アジアの平和構築に貢献する県政の実現が求められます。(県原水協)

川西市では川西病院(250床) 協立第一病院(313床) 統廃合により 約158床減

施設	2022年	2023年	2024年
川西病院	250	180	150
協立第一病院	313	250	200
合計	563	430	350

救急搬送 5倍  
R4年とR30年比  
病院閉合せ、現場活動 5倍

**病院統廃合で医療体制は危機状況、たかたか医療守ろう**  
市立川西市市民病院が指定管理から民間病院との統廃合へ進み、医療体制は危機的状況となっています。川西市では、病院職員・看護師・医師の大幅削減、病床削減で158床が削減されました。さらに川西・猪名川にとどまらず、大阪府豊能方面まで2次救急の空白地域になっています。救急搬送困

0分以上が702回から172回、474回へ4.9倍に増えています。川西市では、病院統廃合による医療体制の危機的状況が広がっています。各地の統廃合を許さないたたかいの強化が必要です。(共産党川西市議)

### 県庁舎建て替えは県民の意見反映を

現在、県庁の1・2号館は耐震強度が不足しているという理由のため、2026年度から解体する予定です。その跡地は暫定的に緑地化し、その後は必要であれば適切な規模の庁舎を建てるとしています。

齋藤知事は職員の出勤率を4割にして、残りの職員は在宅勤務とすると公言していますが、本当にそれで県民への行政サービスが行き渡るのでしょうか。

そもそも「行革」で県職員は大幅に減らされており、土木事務所など出先機関では災害への即時対応の遅れが指摘されています。すでに削減されている県庁職員の多くが自宅勤務となれば、地震など緊急時に適切な対応ができない危険性が高まります。

県は元町再開発も同時に行おうとしています。県庁は県民の財産であり、県庁建て替え・周辺整備は近隣住民だけでなく、県民全体に関わる問題です。

県庁舎のあり方については、県民や議会の意見を反映させることができる仕組みを構築し、十分に意見を聞き、県民の意見を反映した県庁をめぐすべきです。

(「県民のいのちとくらしを守る要求実現連絡会」ビラより)



12月1日 県庁前宣伝

### 県は保育施設の充実と保育士の処遇改善に責任を

県に次の3点を申し入れ話し合いました。

①保育士の配置基準の改善について。4〜5歳は30対1で70人以上変わっていない。小学校の少人数学級が進む中で、保育所の配置基準は正は急務。現在保育所は延長保育など夜間も増えている。開園時間が11時間〜15時間のところもある。国基準の補助金は開園時間8時間のまま。配置基準の改善とともに実態にあわせた補助金改善必要。

②乳児の保育料無料化を。  
③保育士の処遇改善へ公定価格、人件費引き上げを国へ要請

しかし、県は国に要請しているというだけで県として乗り出す回答はありませんでした。(県保育所運動連絡会)

### 全県の教職員未配置は227人、署名を受け取らない兵庫県

兵庫県は、教職員の不足について、事務職員のいない学校も出てきていることから、これまで教員不足と言っていたのを教職員不足と表現するようになりました。

10月1日で教職員の未配置は小学校で常勤108人、非常勤14人、中学校で常勤42人、非常勤19人で合計183人。高校では44人で合わせると小中高で2

### 淡路上空への飛行ルート計画、県は撤回へ役割発揮を

開空、神戸空港の飛行機発着枠を拡大するために淡路島上空に新たなルートが5つ作られようとしています。淡路島は、関西新空港の淡路島建設反対の時から航空騒音公害に反対する粘り強い住民運動を重ねてきました。1993年に神戸空港開港時に向けて、運輸省が淡路上空ルートの設定を出した時も、撤回を求める住民運動で94年に貝原知事が「環境問題をクリアしない空港は認めない」と淡路島上空ルートを押戻した経験もあります。

今回の動きのなかで大阪湾ベイエリア構想を打ち出す兵庫県の役割は極めて大きく、幅広い共同の取り組みを広げたいと思います。(淡路革新懇)

### 27人の教職員が未配置になっています。

内訳を見ると病休の代替教員が見つからないのが58人と一番多いですが、定員未充足が36人もあります。また、自己都合早期退職による未配置が22人あり、この中には4月1日の新卒配置者が4月7日に退職する例まで生まれています。昨年は未配置がない市町が9でしたが今年4。都市部だけでなく郡部でも未配置が生まれています。

教育現場の長時間労働など労働環境の改善なしには教職員未配置は解決しません。教職員未配置をなくす署名を知事部局は受け取りできないとし、教育委員会に回す連絡がありました。こうした県政を変えていきましょう。(兵庫教組)

- 小学校・中学校・公立幼稚園・公立保育所の統廃合
- 市営住宅の7,000戸削減
- 地域福祉センターの統廃合
- バス路線の再編・縮小(兵庫区・長田区)
- バス料金値上げ、水道料金値上げ
- 職員のさらなる削減
- 都市空間向上計画(立地適正化計画)の推進

学校の統廃合、保育園・幼稚園の廃園、郊外切り捨ての都市空間向上計画の推進です。市民の生活空間が壊される計画ばかりです。参議院選挙、知事選挙と同じ25年秋に市長選があります。ともに政治を変えるたたいを進めましょう。(共産党神戸市議)

日本の「ジェンダー平等度」、世界125位!? なんとかしなきゃ!

**ジェンダー平等、本気ですすめる県政に。**

県「ジェンダー平等推進課」創設を!!

議員・管理職...意思決定機関の5割を女性に。

性暴力、DVなくしたい。

最賃1500円に! 1000円じゃ、暮らせないよ

家事・育児・介護...ぜんぶ女性が? おかしいよね

選択的夫婦別姓、早く!

LGBTQ差別なくそう。パートナーシップ条例を。

男女賃金格差、生涯賃金で1億円にも。誰もが人間らしく働き、暮らせる社会に。

We want gender equality.

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

(「県民のいのちとくらしを守る要求実現連絡会」ビラより)